

TNVN network

東京日本語ボランティア・ネットワーク

URL: http://www.tnvn.jp/ E-mail: webadmin@tnvn.jp

2020年 7月10日発行

No.110

新型コロナウイルスと外国人受入れ

(公財)日本国際交流センター 執行理事 毛受 敏浩

2019年末に大分市の姉妹都市でもある中国の武漢から発生したコロナウイルスの感染。その後、中国全土に広がり、やがて世界各地に拡散し、未曾有の被害をもたらした。日本国内も、本文を執筆しているゴールデンウィークには5月末までの緊急事態宣言の延長が決まり、将来に対する不透明感が増している。緊急事態宣言が継続する中で、時期尚早ではあるが、大胆にコロナ後の社会について考察してみたい。

1. コロナ後の世界

インド出身の投資家で『シャルマ の未来予測 これから成長する国 沈 む国』などの著作があるルチル・シャ ルマは、コロナ危機以前から現れて いた4つのDがより明確になり、世 界を方向づけるという。1つ目は脱 グローバル化 (De-Globalization) である。グローバル化のもたらす負 の側面、貧富の拡大などに対して、 世界では反グローバル化、国家主義 的な運動が一層活発になる。ヨー ロッパの反移民を訴える政治勢力や メキシコとの国境に壁を作ろうとす るトランプ大統領もその一人である が、グローバル化への反動がさらに 広がる可能性がある。

2番目は債務恐怖症(Debt phobia)である。2008年のリーマンショック以降、世界は債務に対して強い警戒感を持つようになった。コロナの影響を受けた企業に対して、各国は異例の経済対策を打ち出した

が、それは国家債務を急増させることを意味し、将来、その債務に対する危機意識が高まるという。

そして3番目が生産性の低下 (Declining Productivity) である。リーマンショック後、世界の生産性の向上はネットゲームなどのエンターテインメントに集中し、汎用性のある革新にはそれほど結びついていない。コロナ危機後はさらに停滞が続くと想定する。4つめは人口減少 (Depopulation) である。日本がその先頭を走っているが、多くの先進国では生産年齢人口の減少が始まっており、この事実がコロナ危機後に各国に大きな影響を与えるという。

日本ではどうだろうか?従来から 日本政府の高い国債依存度が問題視 されていたが、今回の経済危機を脱 するために大胆な財政出動を行った。 その結果、日本の財政赤字はさらに 拡大し、債務危機に陥るリスクが一



層高まった。また。人口問題も以前から指摘されてきたが、20年代には従来に増して問題が悪化する。国立社会保障・人口問題研究所は、5年おきに日本の人口の将来予測を出す。最新の2017年の予測では20年代の人口減少は550万人、30年代は620万人へとさらに悪化していく。高齢化もとどまるところを知らない。高齢化率は2060年代を超えて緩やかな増加が続くと予測されている。

2. コロナ危機で露呈したレジリエンス の低下(レジリエンス: 「復元力、強靭 さ | との意味で使いました。)

コロナ危機で改めて明らかになっ たのは、日本社会のレジリエンスの 低さである。高齢化と人口減少が同 時に進行し、人手不足に陥った日本 社会の脆弱性が顕著になった。政府 は2月27日に全国の学校の休校を要請したが、子どもを持つ多くの家庭に困惑と不満が広がった。それは日本の家庭の多くが共働きであり、対応に苦慮した家庭が続出したからだ。

政府は人手不足への対策として 2015年に「一億総活躍政策」を打ち出し、高齢者、女性の労働を推進した。その結果、日本は女性、高齢者とも労働力率はすでに世界トップクラスになった。つまり、働く世代の国民のほとんどが働いている社会、別の見方からすれば余裕のない社会、バックアップのないレジリエンスの低い社会になっていた。

政府はコロナウイルスの感染拡大 に対して、PCR検査の導入を図ろう としたが、機材に加えて検査官の数 が足らないことがネックになった。 またマスクや医療器材の増産がすぐ に進まなかった原因も人材不足が挙 げられる。感染者が入院する病院も 医師、看護師不足が深刻化していた。 IT大国であるはずの日本でマスクと いう極めてローテクの品物を数ヶ月 にわたり十分に供給することができ なかった。政府は従来、人手不足の 解消をロボットやAIの活用で行うと していたが、危機的な状況のなかで それらが危機脱出に役立ったとはと ても思えない。結局は人材の不足が さまざまな問題の足かせとなった。

レジリエンス低下の元凶である人 手不足の源には人口動態の変化があ る。世界一の少子高齢化は人の身体 でたとえれば、全身が老化によって 衰え、末梢神経の麻痺が次第に広が るともに末端では壊疽(えそ)が進 むということである。現実に一部の 地域では限界集落がゴーストタウン 化する例が増えている。しかも、20 年代の変化は一過性のものではなく、 時代とともにさらに悪化が進んでい く

3. 外国人材への期待

いずれ日本ではコロナ危機が終息するだろうが、海外渡航は極めて長く制限が続くだろう。先進国で感染の終わりを告げても、途上国では公衆衛生や医療ばかりか、安全な飲み水すらない国が多いことを考えれば、その影響は先進国を遙かに越見までものになる可能性があり、終息までの長期化は避けられないだろう。先進国の住民は自国でコロナウイルので関係を迎えたとしても、世界のこかで常に再発のリスクがあり、人の国際的な移動について気を抜くことはできない。

その意味で海外渡航はおそらく50年前に近く時代が逆行するのではないか。劇的に人的な交流は減り、昨年までの状況に戻るには数年間を要するのではないだろうか。一方、進む国際交流もある。翻訳ツールの普及により言葉の障壁が低くなり、世界の人々とネットを通じた交流は一層拡大するだろう。

一方、日本ではレジリエンスを高めることが大きな課題となる。人口の若返りが必要だが現実には難しい。となれば、外国人青年に期待がかかる。コロナウイルスによって一時的に国内では失業問題も発生するだろうが、農林水産業や介護分野での人手不足が解消するとは思えない。日本は中長期的には人材不足から逃れることはできない。

しかし、コロナの再発リスクを考えれば各国の海外渡航の規制の長期 化は避けられない。そうなれば、人 の自由な移動を前提として安価な労 働力を得る制度であった技能実習制 度は終焉を迎えることになるのでは ないか。渡航の自由が制限されるに では、従来のような一時的、 で大型の外国人労働者雇用が を大きなと思われる。 を大力に変わると思われる を大力に対している。 を大力に対している。 を大力に変わるととした。 を大力に変わると思われる。 を大力に対している。 を大力に変わるに対した。 を大力に対した。 を大力に変わる。 を大力に変わる。 を大力に変わる。 を大力に変わる。 を大力に変わる。 を大力に変わる。 を大力に変わる。 を大力に変わる。 を大力に変わる。 を大力に対している。 を大力に変わる。 を大力に変しる。 を大力に変したる。 をたる。 を大力に変したる。 を大力に変したる。 を大力に変したる。 を大力に変したる。 を大力に変したる。 を大力に変したる。 をしたる。 をした

4. 進む外国人への支援

2018年末、特定技能の創設と同 時に政府は「外国人材の受入れ・共 生のための総合的対応策」の推進を 決めた。また2019年には日本語教 育推進法が可決され、翌年には日本 語教育の推進に関する基本方針(案) が政府から示され、4月にはパブリッ クコメントにかけられた。この基本 方針では、国は日本語教育の推進に 関する施策を総合的に策定、実施す る責務を有するとし、そのための法 制上の措置、財政上の措置を講じな ければならないとした。また外国人 を雇用する事業主は日本語学習に関 する支援に務めることが求められる としている。

また外国ルーツの青少年の日本語 教育については「国際的な視点を 持って社会で活躍する人材を育成す るとともに、活力ある共生社会の実 現に資する」としている。またNPO や外国人学校といった地域の関係団 体との連携の重要性にも言及してい る。

文化庁では地域日本語教室の空白

地帯を無くす、日本語教師の国家資格化(公認日本語教師)、さらに外国人の日本語能力を総合的に示す指標としての日本版 CEFR を創設を急いでいる。

一方、筆者の勤務する(公財)日本国際交流センターでは2019年11月、休眠預金等法に基づく資金分配団体としての決定を受け、「外国ルーツ青少年未来創造事業一外国にルーツをもつ子供・若者の社会的包摂のための社会基盤作り」を新たに開始した。外国ルーツ青少年が必要とする学習支援、進路指導、就労支援等の活動を行う全国の公益活動を行う

7団体に対して、この分野としては 過去最大の助成事業(3年間約1億8 千万円)の実施を始めた。学校教育 だけでは落ちこぼれる外国ルーツ青 少年の教育やドロップアウト対策、 進路指導、就業支援などが実施され る。

在住外国人への日本語支援、また 青少年への学習支援が大きく変わる うとしている。こうした変化に対し て、従来から外国人に寄り添い日本 語教育等で支援を行ってきた人々、 組織は、現場のニーズを踏まえた発 言、提言をしっかりと行うべきだる う。ようやく社会もそうした声を聴 くことの重要性に気がつき始めてい る。

コロナ後の日本は経済の悪化と人 口減少という大きな難題を抱えて出 発する。日本のレジリエンスを高め る上で、従来にも増して重要な役割 を果たすのは、これまで光が当たら なかった在留外国人の存在である。 彼らの活躍を促すための取組みるそ が、高齢化し働き手が減り続ける日 本社会がレジリエンスを高め、再活 性化できるかどうかのカギを握って いるといってよいだろう。

第27回定期総会中止とWEB総会の結果ご報告

● 経緯

2020年4月19日(日)13時より、第27回定期総会を"さぽうと21"会議室に於いて行う予定で事務局は準備を進めてきました。ところが、新型コロナウイルス感染が日本全国に拡がり、密閉空間・密集場所・密接場面は感染リスクが高くなる為、避けるように行動指針が示されました。

TNVN事務局では、今まで通りの総会を開くことは不可能と判断し、総会の延期も検討しましたが、いつ終息するか見通しが立たない状況を考えると、2020年度の活動を行う為には会員の皆様のご判断を伺う必要があり、総会に代えてご意見を伺う方法としてインターネットを活用することにしました。

TNVNの会則は、総会以外の議決方法についての記載がありません。附則2の「これ以外の細則については、運営委員会に於て決定することができる」を運用し、運営委員各位へ、メールで、WEB総会についてのご意見を伺いました。その結果、ご賛同を得られたので、①2019年度活動報告、②2019年度決算報告、③2020年度活動計画、④2020年度予算(案)、⑤2020年度役員候補について、TNVNHPの各教室への問合せ欄に議題URLを掲載し、正会員89団体各位の賛否を伺いました。

● 結果

回答期限の4月25日(土)までに59団体からご回答をいただきました。今回は、例年と異なり、委任状はありませんでしたので(3月中にハガキを返送された一部の会員で、ご回答の無かった会員につきましては委任状ハガキを有効としました)、ご回答を下さった会員は全て出席としました。

事務局提出の議題につきましては、ご回答下さった全ての会員から賛成のご判断をいただきました。 提出議案に関し、皆様にご議論いただけず、書類の みでのご判断をお願いし心苦しく思いますが、現状 をご理解いただき、ご容赦をいただきたいと思いま す。

● 問題点

今まで、TNVNと会員各位とのコミュニケーションは、郵便又は電話を基本として来ました。今回、WEB総会に際し、TNVN事務局・会員各位間のメール環境が整っていないことが問題になりました。詳細は別の機会に譲りますが、TNVN事務局のメールアドレス office@tnvn.jpを設定しましたので、TNVN・会員各位間はこのアドレスを使用することとします。

(神)

教室再開・再会を心待ちしています。

(ご意見・ご提案等から)

WEB総会についてはP-3で報告しましたが、議案の賛否を表明していただくとともに、ご意見、ご提案等をお願いしました。

その結果、25団体の方が現下の新型コロナウィルスに関わる心配・不安を挙げていらっしゃいました。 以下に主なご意見・ご提案を纏めました。

①ネットでの会議開催に対して感謝を戴きました。

- ●今回のこのネットでの総会決議方法も素晴らしいです。ご尽力に心より感謝いたします。
- ●このたびは書類の準備や会員への連絡など、本当にお疲れさまでございました。
- ●スタッフの皆様のご尽力に感謝しております。
- ●コロナのためご苦労多いと思いますが、今後とも よろしくお願いします。

②教室再開・再会は何時になるの、心配です。

- ●いつも連絡ありがとうございます。コロナの影響でしばらく活動を休止しています。先の見通しは見えませんが安心して再開できる日を待っています。
- ●コロナ禍の中、外国人の医療、生活が心配です。

③今後に向けた取り組み

- ●いつもお世話になっております。大変な状況です が、頑張って乗り切りましょう。
- ●新型コロナウィルスの影響で、今後、日本語教室 がどうなっていくのか、少し心配しています。み なさまと手を携えていっしょに考えていけたなら 幸いです。

●今後、対面活動が難しくなるため、活動形態を変えなければなりません。継続がむずかしいため、 皆様のお知恵をいただきたいです。

④ニュースレターと web を使って

- ●TNVNニュースレターでの情報をありがとうございます。
- Network news の発行を年3回にする案は、大賛成です。
- ●HPからネットワークニュースが見られる様になり、便利で重宝しております。
- ●オンラインセミナーの開催を鋭意ご検討いただけ れば幸いです。

⑤メール操作に困りました

- ●賛成をクリックしても何も変化がありません。
- ●前記の議案 1~5 について「賛成」いたしますが、入力できませんでした。
- ⑥お世話になります。これからも宜しくお願いします。 (数件)

[コロナ・コロナ!]

小川 伶子 (練馬区)

コロナって何? 今は赤ちゃんでさえ、怖いもの!!とわかるでしょう。ほんとうに大へんです。人生八十八年、大へんなことは数え切れないのですが、もうすぐ人生が終わると思われるとき、この災難です。生き残れたら、幸運この上なしでしょう。色々な体験をしてきた中、たった一つ残ったボランティアも出来なくなり、抜けがらの状態が二ヶ月つづきです。もう気力が続かないと思っていた矢先、ママ、中学生二人、小学生の四人家族から、嬉しい便りが届きました。

「教室が休みに入り、その場がどんなに頼りになり楽しい所だったか!!早く元通りになって欲しい!!」

私の心に火がつきました。なんとうれしい言葉でしょう。また、私は役に立てる。 今の所は認知症はなし。耳は大丈夫。歩行が少し大へんですが、一人で歩きます。 ボランティアを始めた二十六年前、「小川さん、日本語ボランティアは車イスでもでき ます」その言葉が今更の様に心の支えです。がんばります。

大変な今だからこそ、 心のつながりを。 ~リモートのすすめ~

日本語教師 金子広幸

震災や政情不安などによる学習者の減少は、覚悟していたことでしたが、コロナウイルスは予想外でした。私のアメリカの生活も「フライトキャンセル」「空港閉鎖」で、突然終わってしまいました。そして、BJ(台湾の友人の息子)を残し東京へ帰ってきたのでした。

今は、何もかも戸惑うばかりですが、学生たちと、支えてくれる同僚・同業者・大学関係者がいます。 クラスには、日本社会を信じ昨秋からの留学を延長した学生、また、今春から東京に留学した学生が在籍、熱心に学んでいます。

リモートセッションが流行ですね。 日本ではLINE・ズームが主流でしょ うか。皆さんは使ったことはありま すか。今回はそれを簡単にご紹介、 お役に立ちたいと思い立ちました。

ご存じ、LINEはスマートフォンの ためのアプリです。交流したい相手 とIDを交換して、以下のことができ ます。

- ●メールのように文字でのやりとり やかわいいスタンプでコミュニ ケーション。写真や動画などを交 換、テレビ電話のように直接通話 も可能。
- ●アルバム機能を使えば、画像を残しておくことも。ノート機能はメモのようにその人との交流の記録に。またホワイトボードのように使える。
- ●同じアカウントを使えばパソコン

でもOK。

私はパソコンとスマートフォンに入れて、両方起動して使っています。

ズームというのは、パソコンのソ フトです。

- ●ネット上の部屋で、大人数でテレビ会議ができるソフト。
- ●画面共有で一緒に作業なども可 能。

これもアプリをダウンロードすれば スマートフォンでも使えます。

どちらもセキュリティーが心配だ という意見もあります。個人情報な どはご注意を。

4月から大学クラスもこのズームを使ったオンラインになりました。(p7にも同様のテーマの寄稿があります。ご参照を)学生たちは、ステイ・ホームでつまらなかったのか「センセイに会いたかった!」と熱心に生き生きと参加しています。入国できなかった学生も、海外から時差を超えて参加。みな遅れずにネット上の部屋に入室、しっかり授業を聞いてくれていて、心理的な距離は大いに縮小。

私たちはと言うと、手描きの絵を スライドにしたり、クラスで紙で行っ ていた小テストは、ネット上に設定 したりして、準備は大変でしたが、 どうにか乗り超えることができまし た。

振り返ってみると…

●まず情報共有。私は12月末ごろか らアメリカの日本語教師たちと



ズームで話す機会があり、早くか ら接することができていた。

●学生や同僚・同業者が手伝ってくれた。特に、同僚・同業者たちとは、時間を決めて互いに情報交換、クラスでの展開を共有することも。心の繋がりも強化。

そのほかにもたくさんの共助・支え 合いがありました。

ガラパゴスケータイと呼ばれる携帯電話では対応できず、ネット環境も必要でお金がかかる、など、ボランティアでの日本語支援には「そこまでする必要はない」というお考えもあると思います。ただ、私は何なり学生と顔を見ながら話せるのが嬉しく、楽しく、何事も新しいことにチャレンジしてみるということも、それ自体とても意義のあることだと思います。

大変な今だからこそ「私たちが外界とのつながりを絶たないため」に、また「日本で1人寂しくステイ・ホームしている外国人市民を放っておかないため」にも、こんな方法できたら、何よりも社会貢献となり、幸せを分け合うことにつながると考えまとも、つロリダで交流した学生たちとかに、対したちは顔を見ながら話すことができているのですから。

■ほっとかれへん

グッドナイト 日本語教室 (江東区)

鈴木 あやこ

コロナウイルス感染拡大で世界中が 大混乱している中、日本で暮らす外国人 や会員の皆様もご心痛やご苦労がおあ りのことと感じております。

この原稿を書くためPCを開いたとたん、元学習者のブラジル人から「保育園が休園になり、夫婦のうちどちらかが会社を休まなければならない。収入が減るので、給付金を受けるか特別保育園に預けたい。園長は『当園の管轄ではない』と言うし、パンフレットは漢字がいっぱいで読めない」という趣旨のLINEが入りました。

早速、園長と話しをしたら「こちらで

話したことが全然伝わっていない。漢字にルビをふるのを忘れた」とのことでした。仮にルビが

あっても、お役所言葉がたくさんあり理 解するのはまず不可能だと感じました。

彼の日本語能力は生活では殆ど問題ないため、園長も理解して貰えるという前提の下で説明したのでしょう。園長には、できるだけ優しい日本語で説明するよう改めてお願いした次第です。

「やさしい日本語」と、英語などの共 通言語で通じる場合であっても、今回の ような異常事態時には、特に母語での 情報提供は絶対に必要だと痛感しまし

本所防災館

た。多言語による相談窓口はまだまだ足りないと思います。公的機関はもとより、私たちもこれからできることを互いに協力し、まずできることから取り組みたいと思います。

写真は、防災館見学会で写したものです。異常事態体験はこのようなところだけに限ることを願います。

一日も早いコロナウイルス終息と会員 の皆様のご健康とご無事を心から祈念 しております。

会員団体紹介 Nice to Meet You

「町田にほんごスクールネット」は 2005年に創立された。会員数は43名 である。2つの活動をしている。

1つは、(「学校支援」と呼ぶ) 小・中学校に「日本語を十分理解していない子ども」が転入学してくると、教育委員会を通して日本語指員派遣の依頼がある。会員の中から、諸条件を考慮して支援者を決め、日本語の指導をしていく。依頼される子どもは、学年も、日本語の理解の仕方も多岐にわたっているので、学校とよく相談しながら指導している。

指導は、日本語指導のみに限られて

nice to meet you

■教室で独りぼっちにならないように

町田にほんご スクールネット (町田市)

会長 丸山 昌吾

いて、1日2単位時間、週2回、年度内120時間以内という枠の中で行われる。子どもたちは簡単な会話はすぐできるようになるが、授業に関してはほとんど理解できず、授業中はただボーとしていることが多いようだ。2019年度に依頼された人数は、小・中合わせて60人であった。

2つ目は、(「中学生教室」と呼ぶ) 中学生の指導をしている会員から、「高 校入試」に対する心配の声が上がり、 「少しでも力になれたら」と有志が集ま り、毎週土曜日午後2時間、希望する 中学生のみ対象に、学校支援では行っ ていない、教科の支援も行う。毎週10 ~ 15 人 の中学生 が 10 人



前後の支援者と共に学習をしている。 日本語の学習が中心であるが、試験が 近づくと教科書を持ってやってくる。 幸いに毎年3~5人の3年生が全員高校 に進学することができている。学校で は独りぼっちだが「中学生教室」には 同じような仲間がいて楽しそうだ。

「学校支援」は教育委員会から1時間1100円の指導費が出ているが、「中学生教室」は一切無償である。

私たちは、普段は北区の赤羽で 教室を開いています。しかし新型 コロナウイルス感染症の拡大を受 け、今はオンラインで学習してい ます。コロナ禍での私たちの活動 についてご報告させていただきま す。

私たちが教室を閉じたのは2月 の終わりです。参加者に活動休止 を伝えたところ、「教室が使えなく なっても日本語の勉強を続けたい」 という声が上がりました。それで 3月からオンラインクラスを始め て、今に至ります(これを書いて いるのは5月20日です)。

クラスは5つあります。初級・中 級・上級クラスとJLPT勉強会 (N1・N2) です。他に子どもの個 別指導も行っています。

それぞれのクラスの学習時間は90分(週1日)、参 加人数は10人程度です。参加費は無料ですが、教室 活動を再開したらカンパを募る予定です。

オンライン学習で私達が使っているツールは、Zoom とGoogle Classroomの2つです。

Zoomというのはビデオ会議ツールです。オンライ ンクラスでは、これが"学校"になります。Zoomの中 には、"教室"にあたるメインの画面の他に、「ブレイ クアウトルーム」という名の"小部屋"がいくつか、そ れにホワイトボードなどの"備品"があります。

もうひとつのツールであるGoogle Classroomは、 Googleが学校向けに開発したWebサービスです。こ れは学習活動に必要なものを入れておくための"道具 箱"であり、同時に、お互いが教材などを受け渡すた めの"郵便箱"でもあります。

私たちはこれら2つのツールを組み合わせて、こん な感じで勉強しています。

まず、参加者はクラスが始まる前にGoogle Classroomを開けて、その日のURLとパスワードを 確認します。そして必要な教材を取り出しておきます。

時間になったらZoomにアクセスして学習開始で す。基本はメイン画面で学習しますが、少人数に分か れて会話練習をしたいときなどは、「ブレイクアウト ルーム」という小部屋に移動します。1つのグループ につき1つの部屋があてがわれて、そこで練習をする わけです。みんなはこの部屋が大好きです。先生が終 わりの合図を出せば、それぞれの小部屋は閉じられ、 みんなが教室に戻ってきます。

練習問題やテストをするときはGoogle Classroom の出番です。問題はオンライン上で解きます。問題を

受け取ったり、提出したりすることも全てオンライン で行います。

オンラインでの学習は、最初は混乱しました。でも 続けるうちにだんだん慣れてきました。

オンライン学習にはいいところもありますし、「ど うかな…」と思うところもあります。

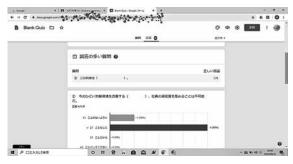
私がいちばん「いいな」と思ったことは、部屋を押 さえる苦労をしなくていいことです。教室活動では部 屋が予約できずクラスが開けないことがたびたびあり ますが、オンラインではそれがありません。また費用 が低く抑えられるのも魅力です。

一方で課題もあります。私が何よりも疑問に思った のは、「オンラインができない人はどうするの?」と いうことです。コンピュータなどの端末がない人、自 宅にインターネット環境がない人はどうしたらいいの でしょう?それに通信料はタダではありません。大学 のなかには学生にコンピュータやポケット wifiを貸し 出すところもあるようです。でも私たちボランティア 団体にそれは難しいですよね?となると「できない人 には悪いけど、できる人だけでやりましょう。」とい うことになるのでしょうか?

最後に話をひっくり返して恐縮ですが、実は私は 「別にオンラインじゃなくたっていいじゃないか」と 思っています。私達の教室は、偶然にも参加者全員に オンライン学習をする環境が整っていたので、今回は このような方法を採りました。でも、もし再び教室が 使えない日が来て、オンライン学習は無理だという人 が1人でもいたら、私たちは別の方法を探すつもりで す。オンラインはあくまで手段であって目的ではあり ません。楽しく学ぶ方法は他にもあると思うのです。



JLPT対策の勉強会をしています



Google Classroom 採点結果をコンピュータが分析してくれます

Network Information

東京日本語 ボランティア・ネットワーク 事務局

● TNVN2020年度役員・スタッフ・運営委員

2020年度の役員・スタッフ・運営委員が決まりました。

ご支援・ご協力をよろしくお願いします。本年度も会員の皆さまと、情報・意見 交換会等を通じて交流を深めてまいります。

○役員・スタッフ

代 表 梶村 勝利 早稲田奉仕園日本語ボランティアの会 (新宿区)

副代表 岡田美奈子 やさしい日本語(江東区)

副代表 神 歩 グッドナイト日本語教室(江東区)

事務局長 林川 玲子 ビバ日本語教室 (港区)

会 計 矢崎 理恵 社会福祉法人さぽうと21 (品川区)

会計 (日常) 林川 玲子 ビバ日本語教室 (港区)

会計監査 山内 眞理 多摩市国際交流センター日本語セミナー部 (多摩市)

スタッフ 小川 伶子 初歩日本語 (練馬区) スタッフ 佐久間雅子 大人の日本語教室 (北区)

スタッフ 床呂 英一 まちだ地域国際交流協会(町田市)

スタッフ 松川 彩子 在宅 やさしい日本語 (江東区) HP英文問合せ

スタッフ 大滝 敦史 在宅 HP管理

○運営委員

今年度は12名の方にお願いしました。

宇野 公容 JCA千歳船橋(世田谷区)

小野美恵子 グッドナイト日本語教室(江東区)

小林 薫 日本語サークル「わかば」(世田谷区)新任

坂本 弘一 かけはし(足立区)

鈴木 恵司 スペース・アイ (渋谷区) 新任

中山眞理子 NPO法人多文化こども自立支援センター(中野区)

仁村 議子 NPO法人IWC国際市民の会(品川区)

日野岳 亮 日本語グループWAIWAI (新宿区) 新任

三浦 幸男 こんにちは日本語サークル (練馬区)新任

吉田 敏夫 日本語ボランティア 翼の会・夜の部 (羽村市) 新任

山形美保子 LTC友の会(杉並区)新任

渡辺 紀子 まちだ地域交流協会(町田市)

olumn 書くこと

私たち日本語セミナー(5教室)で発行している学習者文集は、今年3月で18号になった('92年創刊)。「学習者の多くは書くのは苦手、会話力習得が目的」と言われるが、そうでもない。

以前文集は、ボランティアが学習者の手書き文を打ち直したり、ワード作成できる学習者の作文が中心だった。しかし前号から初級学習者が、教室で書ける短い手書き文の書式も加えてみた。いつもの学習の続きとしての文集である。2Bの鉛筆でA4/A5紙上に書いた個性的な手書き文字が、そのまま文集になった。文字のインスタグラムである。

クラスでの教材はどれも横書きだが、縦書きする学習者もいて驚いた。「すごいね」というと「学校の連絡帳が縦書きだったから、その時頑張って練習しました。」「子供の作文をまねしただけ。」とにっこり語る。

定住の学習者に「書くこと」は必須である。書くことが苦手な学習者でもこれまでは、対面なら様子を見ながら進めることが出来た。これからの「新しい日常」での支援はイメージできないが、学習者を助けるIT技術は豊富にある。漢字もソフトで学べ、スマホは「話す」を文字化できる。

「書く」が形を変えても応援していきたい。(山内)



東京日本語ボランティア・ネットワーク (TNVN) は都内のボランティア日本語教室のネットワークで、会員からいただく会費で運営している民間の団体です。会員は日本語学習支援活動を通して、言葉のため日常生活に不自由を感じている外国人を、隣人として支援しています。又、TNVNは会員への情報提供・会員相互の情報交換、および外部との情報受発信を行い、活動の活性化を図ります。

東京日本語ボランティア・ネットワーク事務局の活動

◆日時:毎週金曜日午後2時~4時 第5金曜日/休み

◆場所

東京ボランティア・市民活動センター JR、地下鉄(東西線・有楽町線・南北線・ 大江戸線ー出口B2b)飯田橋駅下車 セントラルプラザビル 10F ロビー

◆日本語ボランティア相談窓口 日本語ボランティアの活動についての ご相談・ご質問にベテランスタッフがお 応えしています。メール・電話でご確認 の上、気軽にお越し下さい。また、メー ルでのお問い合わせにもお応えしていま

す。ご意見もお待ちしています。

T162-0823

東京都新宿区神楽河岸1-1 東京ボランティア・市民活動センター メールボックス No.4

◆TEL: 03-3235-1171 (呼出: 金曜日活動時間帯のみ)

◆FAX: 03-3235-0050

◆E-mail: webadmin@tnvn.jp ◆URL: http://www.tnvn.jp/

◆郵便局払込

口座番号:00100-1-719259 加入者名東京日本語ボランティア・ネットワーク

◆会員数(2020年6月1日現在)

正会員:89団体 個人協力会員:16名 賛助会員:3団体

◆編集/岡田 美奈子、小川 伶子、梶村 勝利、佐久間 雅子、神 歩、床呂 英一、林川 玲子、山内 眞理

◆レイアウト/美巧社